

i 留学 研修報告書

記入 | 2022 年 4 月

所属 | 理学部 4 年生

研修先大学 (国名)	グリフィス大学(オーストラリア)
研修プログラム名	Direct Entry Program Online
研修期間	3/14-4/1

1. 研修前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

今回グリフィス大学のプログラムに応募するきっかけとなったのは、3 年生秋学期中に自覚した自分の英語力の低さでした。私は去年の夏季休業中にカナダの大学のオンライン研修を受けており、理工系の英語やエッセイの書き方など研究者の道を進む自分にとって必要な技術を沢山学びました。この研修を通じて現地の学生と話すこともできて、英語力は今までよりずっと成長したと思い込んでいました。しかし秋学期中のセミナーで英語の教科書や論文を読み解いたり、友達の留学生や海外から来られた先生と英語で会話したりして、自分の語彙力の少なさやスピーキング能力の低さを痛感しました。英語力を保持する手段として、通学中に TED の動画を毎日 5 分は欠かさず見て新出単語をメモに書き留めることを習慣づけていましたが、学んだものをしっかりと消費することができずにいました。そんな中名大の海外留学室のウェブサイトでグリフィス大学の ESL プログラムが春休み中に開催されることを知り、自分はこのプログラムを受講して英語の 4 技能を集中的に練習しようと決心しました。

2. 研修内容 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

私が受けたグリフィス大学のオンライン研修について、プログラムが開始する以前から終了するまでの過程に沿って説明していきたいと思います。

最初に、この研修に応募した後、授業が始まる前にクラス分けをするためのオンラインテストを受験します。私が受けたところ、そのテストは主に生徒の語彙力や文法の正確さを試す問題から構成されているように見受けられました。このオンラインのテスト結果に基づいてクラス分けが行われます。クラスが決まると、Microsoft Teams アプリでクラスのグループに配属されます。Teams は先生や生徒との会話、授業に関する通知、会議への出席など、本プログラムにおいて幅広い場面で重要な役割を果たします。

第 2 に、クラスごとに異なるオンラインミーティングに参加し授業を受けます。授業時間は全体で 4 時間にわたり、時間割は以下ようになります(時刻は JST に基づく)：
9:30-11:30(午前の部),11:30-12:15(ランチ休憩),12:15-14:15(午後の部)。

授業は月曜から金曜まで毎日開かれ、それが 3 週間続きます。そのため、英語に触れている時間は授業だけで $4 \times 5 \times 3 = 60$ 時間に上ります。

クラスに出席している学生の国籍は本当に多様でした。僕のクラスは全体で9人でしたが、日本人は2人のみで、モンゴルから3人、中国から1人、フランスから1人、ベトナムから1人、コロンビアから1人参加していました。さらに驚いたことに、私のクラスでは日本人を除いた学生全員が現地(オーストラリア)で本プログラムを受講していました。現地にいる学生は本プログラムを修了してグリフィス大学に入学する人、オーストラリアに移住した人等いろいろな目的、経緯があり、その多様さも会話の種になって楽しかったです。

ここで授業の内容について詳細を述べたいと思います。授業は主に Microsoft OneNote アプリにアップロードされている教材を用いて進めます。教材の内容は主に大学で使われる学術的な用語や様々なエッセイの構造や書き方、プレゼンテーションなど授業の半分はグループワークが占めており、コミュニケーションする機会が豊富です。宿題はほぼ毎日出されますが、大半は一時間半あれば完了する程度の分量でした。中でも印象に残っているのは、自分の専門分野(興味のある分野)の論文や本の記事から専門用語を抜粋し、その定義や例文を自身の言葉で作成するという課題でした。この課題を通じて、今まで習ってきた自身の専門の内容を英語で捉え直す機会を得られ、今後英語を学術的な場面で使う自分にとって非常にためになったと感じました。

第3に、プログラム中の課外活動について説明します。このプログラムは授業の他に課外活動も充実していて、中にはプログラムの成績に反映される重要なものも準備されています。その中の一つが Independent Learning とよばれる自主学習です。これは外部のウェブサイト(BBC learning English, TED など)を通じて英語の各技能に向けた練習を行うという内容の課外活動であり、それらの問題演習の進捗状況が成績に影響します。Independent Learning で取り揃えてある教材は学術英語、会話表現、発音練習など実用的な技術や練習を提供してくれるため、毎日地道に進めれば確実に英語が身に付いてくる、素晴らしい課外活動だと思います。

最後に、プログラムの最終段階で受験するテストについて説明します。私は第3週の水曜日にリスニング、読解、ライティングテストを続けて受けました。特にリスニングテストは想定している場面がとても複雑で、聴きとれない単語もありました。しかし、これらのテストの結果は成績の一部として評価されるにすぎないので、Independent Learning などを利用して英語と長時間向き合うことに慣れておくだけでテストへの準備は十分だと思います。

3. 環境 (オンライン履修環境、時差と健康管理、準備して良かったものなど)

まず時差について説明すると、グリフィス大学のあるクィーンズランド州は AEST という世界標準時から10時間進んだ(つまり1時間 JST より早い)時間を採用しています。オーストラリアのいくつかの州では10月初めから4月の初めまでサマータイムを導入していますが、クィーンズランド州では適用されていないため、日本との時差は常に+1時間となります。ウェブサイトなどで時差を確認する際は、必ずグリフィス大学が位置する都市ブリズベンの名前で検索するように気を付けましょう。

次に健康管理についてです。上述したように授業は午前中 2 時間 + 休憩 45 分 + 午後 2 時間というかなりきついスケジュールなので、寝不足だと授業中集中力が尽きてしまう恐れがあります。春休み中はオンラインプログラムだけでなく、バイトや友達との娯楽もあって中々ゆっくり休む時間をとることが難しいかもしれませんが、睡眠時間だけは必ず 7 時間確保するようにスケジュールを管理しましょう。また昼休憩が 45 分と短いので、昼ご飯はインスタントのものなどを活用しましょう(おすすめはカレーメシです)。

そして、オンライン授業全般に言えることですが、マイクがしっかり音を拾うか、カメラはしっかり機能するか、椅子は長い間ずっと座っていられるほど快適か等、設備の確認は事前にしたほうがいいと感じました。

最後に、授業の概要を述べたときに言及しましたが、このプログラムでは Microsoft Teams や OneNote を用いて授業を進めます。そのため Teams や OneNote のアプリを使ったことがないという人は、予めパソコンにインストールし機能を確認しておくこととすぐ役に立つと思います。

4. 研修を終えて感じる事&研修申込を考えている学生へのメッセージ

まず、今回の研修の授業は非常にハイレベルで、今までの自分の英語力、さらに英語の勉強の仕方などを見直すきっかけになりました。大学生として必要な学術英語の練習に重点が置かれていること、自主学習する環境も整っていること、様々な国籍の人とコミュニケーションをとることができることなど、このプログラムは英語力を上げるための要素が実に豊富に詰まっていると私は思います。加えて授業料は実際に留学するよりもお値打ちであることも考慮すると、私はこのプログラムを、英語力を基礎から鍛えたい人、実際に留学する前に海外の大学で英語を学ぶ体験をしたい人、日本にいながら現地の英語に触れてみたい人など、様々な目的を持つ幅広い学年の方にお勧めします。

次に、研修を受けてみたいと考えている方に一つメッセージを伝えたいと思います。自分の経験や他の生徒から聞いた話に基づくと、プログラムに積極的に参加し発言しようとする姿勢はテストの成績よりも肝要だと感じています。3 週間という短い期間だと、間違いを恐れて発言を躊躇することは英語でコミュニケーションをとる貴重な機会を失うことにつながってしまいます。そのため、研修申し込みを考えている方には、プログラム中は恥ずかしがらずに英語で発話することを大切にしてほしいと思います。私は自然な英語で話せているか不安でもとにかく発言することを大事にしたことで、英語をアウトプットするだけでなく、先生が修正して教えてくれた表現をインプットする機会につながり、スピーキング力や語彙力の向上につながったと思います。

5. 研修費用 (おおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
授業料 (教材費含)	142454 円	

その他（通信費など）	5000 円	家で使用している契約プランが 1 カ月につき 5 千円.
奨学金・協定校割引	円	
計	147454 円	

6. 自由記述欄 *おすすめ情報や研修エピソードなど書いてください。写真や資料添付も歓迎します。

課外活動について、お勧めのアクティビティを一つ紹介します。それは“Grammar & Vocabulary Workshop”というワークショップです。このワークショップは授業が終了した後に1時間だけ開催されるのですが、「倒置」や「接頭辞、接尾辞」、「句動詞」など、すぐに使いづらい英文法や語彙を取り上げ、練習を通じて知識やボキャブラリーを身に付けられるように先生が優しく指導してくれます。自分は特に「倒置」を意識して英語を使ったことがなかったのですが、先生の指導のおかげで今までよりずっと親しみやすい文法事項になりました。授業で習う英語以外にもさらに学んで自身の英語力を高めたいという人にぜひおすすめです！